

2006年9月15日金—24日日 和光大学新体育館パレストラ 午前10時—午後6時

主催：和光大学／共催：水俣フォーラム／後援：町田市教育委員会・川崎市教育委員会・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・東京新聞・神奈川新聞・共同通信・NHK・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京

水俣病
新たな50年のために
Minamata Disease
A New Beginning for the Next Half Century

水俣・和光大学展

MINAMATA Wako University Exhibition



14歳の重症胎児性水俣病患者、潤上二枝。一言も発することなく29歳で死亡。脳の重量は1歳児程度しかなかった。 Photo by Takeshi Shiota 1968

知ることから始めよう。

開催にあたって

毎日の暮らしが便利で快適で福祉と医療が充実している、そうした社会の実現を私たちは願ってきましたし、それに向かって現在も努力しています。ところが時間に追われる仕事とその自己責任をまっとうするため、疲れてイライラしているようです。そんな疲労の蓄積の極点で起こったとしか思えないような犯罪が増えています。まして、私たちの便利さ、快適さと引き替えに、他の社会や国がひどい状態になっているとしたら、また、自然や環境が取り返しのつかない破滅に向っているとしたら、どう考えればよいのでしょうか。

便利さを代表するプラスチックの生産がもたらした水俣病が報告されて50年になります。そして今、新たな被害者からの認定申請がつづく一方で、被害者救済のために作られたはずの被害者認定審査会は開かれてさえいません。「政府はいくらなんでもひどすぎる」という指摘がつづいています。でもそのような事態が私たちの暮らしのあり方と深く関わっていることに気付くと、さらに「どうしたらいいのか」、イライラがつのります。チェルノブイリなどの原発事故、血液製剤によるエイズや肝炎、アスベストによる被害、化学物質過敏症なども、大きな意味での水俣病と言えます。

どうしたらよりよい社会にできるのか、どのようによりよい生をまっとうするか。「知」とは、そもそもそんな願いに導かれて誕生したはずです。そうした「知」に立ちながら、今年、創立40周年を迎えた和光大学は、明日の50年のために、いのちを見つめるために、しっかりした暮らしのために、「水俣展」を開催します。初の大学主催の「水俣展」に、学外からも多くの方々がお出でいただきますよう、お願いします。

展示 — 発生より半世紀。「水俣」の事実は現代日本に何を語るのか。

■ メイン展示…………… 悲しみの底に何が見えるか

プロローグ：1956年4月、幼い少女が「奇病」が襲った

クロニクル：映像でたどる水俣病と私たちの半世紀

展示1：水俣の美しい自然・豊かな風土

展示2：水俣病とは何か

展示3：水銀はなぜ止まらなかったのか

展示4：被害者は何を求めたのか

展示5：その後の水俣と水俣病事件

エピローグ：「彼岸の団欒を垣間みる」石牟礼道子

■ 実物展示…………… 残された物こそ雄弁に語る

水俣病発症量の有機水銀

水俣湾の海底にあった水銀ヘドロ

患者が半年間で服用した薬のカラ

水俣湾に張られていた汚染魚仕切網

チッソの素材を用いた現在の商品 など

■ 写真展示…………… レンズが失われた声を聞いた

W.ユージン・スミス+アイリーン・M.スミス

桑原史成「水俣病・原点から」

塩田武史「水俣・深き淵より」

芥川 仁「水俣・厳存する風景」

宮本成美「水俣・終わりになき巡礼」

■ ビデオコーナー…………… 水俣病を通して現代社会を考える

「チッソはなぜつぶれないのか」「水俣の魚は食べられるのか」「水俣病の解決とは何なのか」など8つの問いにQ&A方式で答える映像。

■ 水俣物産展…………… モノを通して暮らしと志が出会う

患者が漁り作った無添加のいりこ、ひじき、あおさなどの海産物。低農薬の甘夏マーマレード、無農薬茶、リサイクルせっけんほか。

■ 患者遺影…………… 死者たちが来場者を見つめる

記録映画作家・土本典昭夫妻が1年間水俣に滞在して、800軒の遺族を訪ね遺影を収集。その後も患者家族により収集がつづき、あわせて474影を空間一面に展示。

■ 美術展示…………… 事実は表現されて真実となる

丸木位里・俊「水俣の図」レプリカ 新作

中村正義「何処へいく」「おそれ」レプリカ

中村一美「水俣」レプリカ

■ 展示説明会

専門の説明員やボランティアスタッフが順路に沿って約40分ご案内します。開催時間は表の通り。また、定時以外の展示説明をご希望の団体は、前日までに水俣フォーラムへ。

	15H	16H 17H 18H	19H 20H 21H	22H	23H	24H
10:00	◎					
11:30		◎			◎	◎
2:40				◎	◎	
3:10		◎	◎			
4:00						◎

■ 水俣病ブックフェア

ノンフィクションはもとより文学作品、写真集、文庫、新書、児童書、絵本など、もっと知りたい方のために、一般書店ではなかなか手に入らない水俣病の本とビデオなど、130点を販売。

毛髪水銀調査コーナー

私たちの体には、いまだどれくらい水銀が含まれているのか。ご希望の方の頭髪を採取して、国立水俣病総合研究センターが分析。結果は2ヶ月以内に、ご自宅に送付します。数値解説の監修は原田正純熊本学園大学教授。この機会に、あなたも調べてみませんか。実費の一部として1人500円いただきます(病院などでは数千円)。所要時間は15分、毎日先着60名まで。



豊かだった海の幸



胎児性水俣病患者 72



狂死した患者の爪痕 60



動かなくなった手 70



原因究明に励む熊大研究班 60



抗議する患者 72

■ 開催記念講演 最首悟「水俣と現代社会を考える」

9月15日(金) 午後6時30分開場、7時～9時

最首 悟 (和光大学教授、環境哲学)

プロジェクトリーダーとして本展開催を準備してきた最首さんが、1977年の不知火海総合学術調査団への参加以来、考察を重ねてきた「水俣観」を全面展開。



最首 悟

■ 「水俣から考える」—言葉と表現

9月16日(土) 午後3時30分開場、4時～6時

石牟礼道子 (作家) ビデオレターによる出演

加藤登紀子 (歌手)

独自の言語感覚が高い評価を得て、様々な表現に原作を提供した石牟礼さん。その全集で『苦海浄土 わが水俣病』の解説を執筆した加藤さん。2人の「表現論」。



石牟礼道子



加藤登紀子

■ 「水俣から考える」—マイノリティとコミュニティ

9月17日(日) 午後3時30分開場、4時～6時

花崎皋平 (哲学者)

藤本寿子 (水俣市議会議員、患者団体事務局)

産廃処分場計画と新たな認定申請者の続出にゆれる地域社会水俣。藤本さんの現状報告をもとに、常に絶対少数派・被抑圧者の側に立って、希望を模索する花崎さんの論考を聞きます。



花崎皋平



藤本寿子

■ シンポジウム「『専門家社会』を問う」

9月18日(祝) 午後1時30分開場、2時～5時

山田 真 (小児科医師)

川田龍平 (薬害エイズ被害者)

神 聡子・貴夫 (小樽・子供の環境を考える親の会)

現代社会にとって専門家は欠かせない存在だと思われていますが、このような社会と専門家のあり方は私たちに何をもたらすのか。水俣病をはじめとする公害や薬害事件、アスベスト放置などに表れる専門家の意識や価値観を検証します。



神 聡子・貴夫



川田龍平



山田 真

■ 映画「水俣—患者さんとその世界」を見る

9月19日(火) 午後6時開場、6時30分～8時30分

土本典昭監督作品

1971年/モノクロ16ミリ/2時間/DVD上映

1969年、チッソを相手に裁判を起こした患者たちの日常を描いて、映画は公害事件の単なる告発を越える。海外の映画賞も多数受賞した記録映画史上に残る名作。



■ 朗読劇「海と空のあいだに」

9月20日(水) 午後6時開場、6時30分～7時40分

出演：荒木ひとみ、小室雅子 (風詠の会)

原作：石牟礼道子

(『苦海浄土』『みなまた海のこえ』より)

新劇と朗読を本格的に学んだ二人が、自身の体験に照らしながら『苦海浄土』の世界に迫ります。昨年4月初演。装置をシンプルにして挑む今回は3回目となる上演。



■ シンポジウム「循環型社会へのまなざし—経験としての水俣から」

9月21日(木)

午後4時30分開場、5時～8時

山口幸夫 (原子力資料情報室共同代表)

岸 由二 (慶応義塾大学教授、生態学)

田中 優 (未来バンク事業組合理事長)

堂前雅史 (和光大学助教授、生物学)

いかにして「水俣」を繰り返さないか。その一つの解答とも言うべき循環型社会への試行のために、社会活動を展開して注目を集める和光大学の教員たちが話しています。



山口幸夫



岸 由二



田中 優



堂前雅史

■ 報道特番「埋もれた報告」を制作者と見る

9月22日(金) 午後6時開場、6時30分～8時30分

大治浩之輔 (元・NHK記者)

1976年に全国放映されて大きな反響を呼んだこの作品(60分)の副題は「熊本県文書が語る水俣病」。司法で断罪された行政は、40数年前、何をしたのか、しなかったのか。



■ 「私と水俣病」—患者さんのお話から

9月23日(祝) 午後3時30分開場、4時～6時

大村トミエ (水俣病患者、川崎市在住)

最首 悟 (和光大学教授、環境哲学)

水俣病多発の漁村から出郷の後に発病。患者認定を求めて行動した当事者ならではの言葉を、聞き取りを重視する最首さんが引き出します。



大村トミエ

■ 講演とリレートーク「私たちは何処へ行くのか」

9月24日(日) 午後2時30分開場、3時～6時

栗原 彬 (水俣フォーラム代表、明治大学教授、政治社会学)

30年にわたって「水俣」からの読み解きにつとめてきた栗原さんの講演を受けて、本展の開催準備にかかわった様々な人々が語ります。



栗原 彬

■ 一人芝居「天の魚」

出演：川島宏知 (東京不知火座)

構成：砂田 明

原作：石牟礼道子 (『苦海浄土』より)

1979年の初演以来、92年に病床に倒れるまで、全国で公演566回を数えた砂田明の舞台。砂田を師と仰ぐ俳優の川島さんが、その復活に挑みます。



川島宏知

9月 15日(金) 午後2時30分開場 3時～4時30分

16日(土) 午後1時開場 1時30分～3時

17日(日) 午後1時開場 1時30分～3時

22日(金) 午後3時30分開場 4時～5時30分

23日(祝) 午後6時30分開場 7時～8時30分

関連企画 おもに学生向けですが、一般の方もご来場下さい(入場無料)

■ 安武章「身近な環境から科学する—毛髪からみた身体のなかの水銀摂取」

講師：国立水俣病総合研究センター生化学室長

9月20日(水) 午前10時40分～午後12時10分、J棟301教室

■ 青山俊介「環境問題と水俣病—私の水俣体験から」

講師：環境コンサルタント、水俣フォーラム副代表

9月20日(水) 午後1時30分～2時30分、J棟401教室

チケット

	当日	前売	11枚つづり前売券 (主催者のみの取り扱い)
一般・大学生	1200円	1000円	10000円
高校生以下	600円	500円	—

- 入場は閉場の30分前までです。
- チケット1枚で展示に1名1回限り入場できます。
- 小学生以下、および障害者の介護者は無料です。
- ホールプログラムの入場にはチケットの半券提示が必要ですが、何度でもご入場いただけます。
- 高校生は、当日受付にて学生証をご提示下さい。
- 高校生以下の30人以上の団体は、事前申し込みの場合、入場無料となります。
- 30人以上の団体は、当日料金より各100円割引となります。

お求めは

- ・チケットぴあ、ファミリーマート、サークルK、サンクスでチケットをお求めいただけます。店頭で端末操作に必要な「Pコード」ナンバーは前売券「984-487」、9月15日以降は当日券「984-488」です。
- ・和光大学、水俣フォーラムでも直接ご購入いただけます。水俣フォーラムでは郵送もお受けできます。
- ・もっともお安くご入場いただける11枚つづり前売券は、主催者のみの取り扱いですので、下記のいずれかまでお問い合わせ下さい。



お問い合わせ

和光大学 〒195-8585 東京都町田市金井町2160 最首悟研究室 TEL 044-989-7777(内5804) ホームページ http://www.geocities.jp/minamata_wako_06/ E-mail: minamata_wako_06@yahoo.co.jp 学部事務室 TEL 044-989-7497 FAX 044-988-1435	水俣フォーラム 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目34番地12号 竹内ロリエビル401 TEL 03-3208-3051 FAX 03-3208-3052 ホームページ http://www6.ocn.ne.jp/~mf1997/ E-mail: mf1997@mountain.ocn.ne.jp 郵便振替: 番号「00120-4-398614」、加入者「水俣フォーラム」
---	--

会場

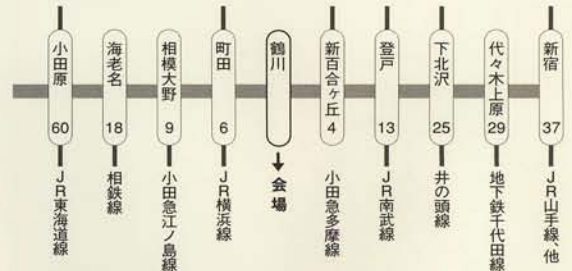
和光大学 東京都町田市金井町2160
 [小田急線鶴川駅より徒歩20分、送迎バス15分(無料)、タクシー10分(1000円以下)]

- [展示] 新体育館バレストラ
- [ホールプログラム]
- 講演・映画: J棟301教室
- 演劇: 新体育館バレストラダンス演習室

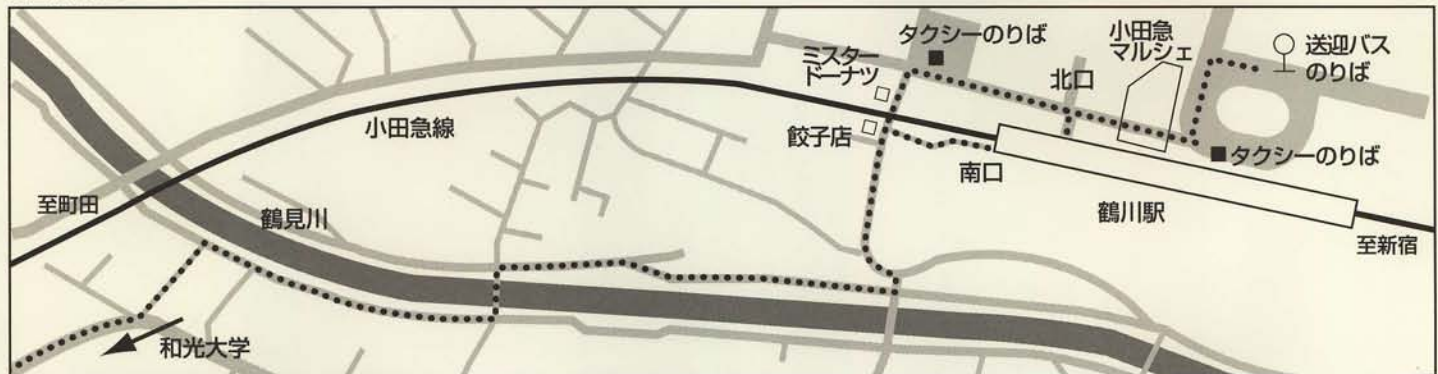
食堂・売店は午前11時から午後2時の昼食時、学生食堂は平日・土曜のみ、飲食物を販売する売店は日曜・祝日もご利用いただけます。

小田急線のアクセス

*駅名の下の数字は鶴川駅までの平均所要時間(分)。



鶴川駅周辺



和光大学構内



送迎バス運行表

	9月15日~18日、24日		9月19日~22日		9月23日	
	駅発	大学発	駅発	大学発	駅発	大学発
8時	30	15	30	15	30	15
9時	20	10	40	30 50		50
10時	20	10	00 20 55	10 45	00	50
11時	20	10	30	20 50	00	
12時			00 10 30	00 20		50
13時	20	10	15 50	05 40	00 20 40	10 30 50
14時	20	10	20 55	10 45	00 20 50	10 40
15時	20	10		55	10 30 50	00 20 40
16時			05 35	25	10 30 50	00 20 40
17時	20	10	20	10	10 30 50	00 20 40
18時	20	10	20 50	10 40	10	00

※会期最後の土曜日・日曜日は展示会場の混雑が予想されますので、ゆっくりご鑑賞いただける前半のご来場をお勧めします。

ボランティア募集中

水俣・和光大学展の開催準備や会場運営のためのボランティアとしてご参加いただける方は、水俣フォーラムまでご連絡ください。なお、ボランティアの方のお名前は会場に掲示させていただきます。